

いっでんわ

熊本県立
芦北支援学校



第173号

令和3年3月2日
発行

紙面内容

- ◎新児童生徒会役員紹介
- ◎卒業生特集
- ◎交流及び共同学習
- ◎卒業生の進路情報等

「微力ですが 無力ではないはずですよ」



校長
山下由美

梅の花の甘い香りにつられて、ミツバチだけではなくメジロもかわいい姿を見せてくれます。桜のつぼみも膨らんで、春の訪れを実感しています。

さて、今、学校でも感染拡大防止の機器の導入が進んでいます。教室はもちろんですが、校長室にも空気清浄機が入りました。湿度、イオン管理等自動でやってくれています。タンクに水を補給するのは私ですが、校長室の清浄機は、しゃべります。「空気がきれいですね」とか「空気が乾燥しています 加湿しますね」などです。スイッチを切る時には、「24時間つけっぱなしでも安心の電気代ですよ」と言われました。また、「スマホと接続するともっと操作が簡単になりますよ」と勧められたこともあります。時々「イオン出てるよ」とため口になり思わず笑っ

てしまいます。こんなにも、AIが身近になっていくのだ・・・と感心しました。ただ、機器を完成させたり、導入したりするには多くの人の力が必要です。携わって下さった方々へ感謝するとともに、その便利さに感心しきりです。

そんな中、例年どおりとはいきませんが、今年も卒業証書授与式を挙行します。卒業生にとって幸多かれと願うばかりです。また、苦しい時は、この学校での様々な経験が活かされると信じています。ふと、広島長崎中高生平和宣言「世界中のすべての人へ」が頭をよぎりました。「(前略) 人のために世界のために 地球のために そして未来のために あなたには今何ができますか わたしたちは微力ですが 無力ではないはずですよ (後略)」卒業してもずっと共に歩んでいきましょう。やれることをやってみましょう。同じ地球人として・・・。

新児童生徒会役員紹介

佐敷分教室

会長のMさん、役員のかんさん、Bさん、Hさんを中心に分教室を引っ張ります。「楽しく安心して生活できる学校」を新スローガンに掲げ、全校集会の運営やいじめ「0」運動に力を入れて取り組みます。「今は、コロナや水害でたくさんさんの制約がありますが、分教室の生徒みんなが来たいと思える学校を目指し、役員と協力しながらがんばります。」とM会長は意気込みを語りました。

(吉田)



本校

次期、芦北支援学校を担う精鋭たちを紹介します。

- ・ 児童生徒会長 Fさん
- ・ 中学部役員 Dさん
- ・ 中学部役員 Yさん
- ・ 小学部役員 Iさん
- ・ 訪問教育役員 Aさん

旧児童生徒会のみなさん、歴代最長期間の選挙管理委員長、Tさん始め委員のみなさんお疲れ様でした。

(尾下)



卒業おめでとうですー！

佐敷分教室

「ご卒業おめでとうございます！卒業は輝く未来への、はじめの一歩ですね。楽しいこと、嬉しいこと、わくわくすること、素敵な出逢いがいっぱい待っています。その時その時を大いに楽しんでほしいと思います。」

「光陰 矢のごとし」。月日が過ぎるのは早いですね。オペラコンサートでドレスやタキシードを着て、オペラ歌手になったこと、芦高祭に向けて手形の虹を作ったこと・・・卒業制作では、リヤカーのサイズを測り値段を調べに行ったり、コンパネをペンキで塗りのこぎりで切ったりして、「チョココレート1号」と「2号」のリヤカーを完成させましたね。「卒業生を送る会」に向けて、手話を練習したり、「やってみよう」のダンスを「卒業生を送る会バージョン」にみんな考えて工夫したりもしました。

同じ場所、同じ時間、同じ空間で、共に過ごせたこと、とても感謝しています。思い出の一つ一つが宝物、そして、あなた方一人一人が宝物です。楽しい時間をありがとう！悩んだり苦しくなったりしたら、4時間いつでも連絡OKです。ピンチはチャンスです！あなたにたくさん幸せがありますように願っています。(鳳凰・塩田・吉田)



高等部

Tさん、Nさん、ご卒業おめでとうございます。Tさんは、周囲の声にしつかり耳を傾けて、特に高等部3年生では、体調不良での欠席はほとんどなく、毎日安定して登校することができました。Nさんは、児童生徒会長として学校を明るく引っ張ってくれました。周囲を気遣い自分で考えて動く姿や周りの反応を見ながら司会をする姿に成長を感じました。Tさん、ご家族や周囲の人との会話を楽しんでください。Nさん、病棟でのお手伝いや余暇活動に意欲的に取り組んでください。卒業後も応援しています。(福島・外山)



高等部訪問教育

Sさん、Kさん、Fさん、ご卒業おめでとうございます！

Sさんの指や腕の動かし方を工夫しながらいろいろな学習への挑戦・気持ちを伝える姿が印象的でした。児童生徒会役員として活躍する姿、とても頼もしかったです。

Kさんの口を大きく開け、思いを伝える姿が印象的でした。児童生徒会役員の経験に基づき、選挙管理委員としての活躍は目を見張るものがありました。

Fさんのことわざに興味を持ちたり、言葉の使い方を考えたりする姿が印象的でした。間接的にも友だちとの学習を喜ぶ姿に、友だちとの絆を感じました。

3人の友だちを思いやる気持ちや最高学年としてみんなを気遣い引っ張る姿、素敵でした。卒業後は、これまで学んだことを糧に、いろいろな人とかかわりを楽しみ、様々なことにもチャレンジして、充実した毎日を送ってくださいね！(竹下・五嶋)



中学部

Kさん、Mさん、ご卒業おめでとうございます。中学部では、園芸や音楽、ポルプ(ポイントゴルフ)など様々な学習に取り組みましたね。特に学習発表会では、海浜公園や柿農園に出掛けたり、「葦北鉄砲隊」や「うたせ船」について紹介したりするなど、北の魅力を紹介したりするなど、発表することができました。これからは自分らしさを発揮し、たくさんの方にチャレンジしてください。応援しています。(坂本・大塚)



小学部

Yさん、ご卒業おめでとうございます。小学部の最高学年として、3年生の2人を優しく見守ったり、良いお手本となったりしてすっきり「お兄さん」らしくなりましたね。自分から手を伸ばしたり、しつかり見ながら操作したりするなど、様々な場面で意欲的に取り組む姿に成長を感じました。中学部でも頑張ってくださいね。(松山)



中学部訪問教育

Tさん、ご卒業おめでとうございます。指を動かしているいろいろなことにチャレンジしたり、掌でギューッと握っているいろいろな気持ちを伝えてくれたりと、授業の度にTさんの頑張る姿に私たちが方がいつも励まされていました。これからも、たくさんの方を経験しながら頑張ってくださいね。(廣嶋・尾下)



交流及び共同学習コーナー「あいりす」

小学部

6月に学部紹介を撮影したビデオレターを佐敷小学校へ、1月には、ここにこふれあい発表会での学部を発表をDVDにして佐敷小学校と吉尾小学校へ送りました。直接会っての交流はできませんでしたが、来年度も感染状況を見ながら工夫して取り組んでいきたいです。

(東)



中学部

佐敷中学校と直接的な交流学习は実施できず、手紙とビデオレターの交換での交流を行いました。昨年度の交流の様子を写真で見ながら、交流校の友だちを思い浮かべながら、手紙を書くことができました。

来年こそは佐敷中学校や有隣と直接交流ができることを願っています。

(園山)



高等部

今年度は、直接の交流はできませんでしたが、10月の紙漉きの活動を通して出来上がった紙を利用して、芦北高校農業科3年生のみなさんへのメッセージを応用紙にまとめて送りました。

来年度も、様々な方法を工夫してかわり合い有意義な交流ができるようにしたいです。

(篠原)



佐敷分教室

本年度は新型コロナウイルスや豪雨被害のため、限られた形での交流となりました。芦北高校福祉科のみなさんとは、それぞれが作成したパーツを合わせて一つの作品や動画を完成させ、芦高祭で披露しました。今後もある形での交流を継続していきたいと思えます。

(門永)



保健室より

本校

今年度ほど心と体の健康や日常の尊さを考えさせられる年はなかったのではないかと思います。児童生徒や教職員もマスクの着用で表情が見えず、ソーシャルディスタンスを保つために交流を控えねばならないもどかしさを、どのように解消していくかが今しばらくは大きな課題であると思います。

新しい生活様式の視点をもとに、全ての教育活動の中で感染症予防対策を第一に、教育活動を行っています。これからもその気持ちを緩めず、児童生徒や保護者の皆様が安心して登校できる環境づくりや教育活動に励んで参ります。これまでと同様、ご家庭のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(西崎)

佐敷分教室

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大、令和2年7月豪雨、それらに伴う長い休校等、未曾有の出来事に振り回された一年でした。災害などの出来事を体験すると、人は大きなストレスを感じます。良いストレスは私たちにとって必要なものですが、悪いストレスは溜め込むと心や体に影響が出てしまうため、上手に解消することが必要です。

保健体育委員会では、ストレス解消法について、生徒と先生にインタビュを行い、全校集会で発表しました。最も多かった回答は、「音楽を聞く」次は「運動をする」でした。解消法はいろいろあります。一人では解決できない問題にぶつかった時には、保健室があることも思い出してください。一緒に考えましょう！

(金子)



人権教育の取組

感染症に関して

感染症に関するいろいろな差別や偏見があると言われています。そこで学部毎に文部科学省が制作した感染症に対する正しい知識と差別を行わないための映像を見て学習を行いました。分かりやすい内容で、関心を持って学習に参加することができました。また毎年12月の人権週間に合わせて実施していた人権学習ですが、今年度は学部毎に2月末まで期間を延長して実施しました。学部毎にそれぞれの児童生徒に分かりやすい内容で実施します。終了後全学部の取組を応用紙にまとめ、各教室に掲示し更に学びを深めたいと思います。

(五嶋)



芦北高校との リレーマラソン大会

佐敷分教室

12月23日に芦北高校とのリレーマラソン大会に参加しました。ロードレースの部とリレーマラソンの部に分かれて行われました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で学校行事がなかなかできませんでしたが、この大会は十分な感染症対策を行い、実施することができました。当日は、生徒全員が練習の成果を発揮して、素晴らしい大会になりました。



佐敷分教室

バドミントン大会

佐敷分教室

1月13日～15日にバドミントン大会を行いました。各グループ3～4ペアでのリーグ戦を行い、3日間の合計得点で争いました。どの生徒もシャトルを見て、相手のコートに返し、得点を決めることができました。充実した3日間になりました。

(鳳凰)



進路情報

3月、高等部15人の卒業生（本校5人、分教室10人）が、12年間の学校生活を終え、新たな生活へ向かって芦北支援学校を巣立っていきま。高等部の卒業は、人生の大きな節目です。これから先の長い人生、楽しいこと、辛いこと、いろいろなことがあると思いますが、悩んだり、困ったりした時は、一人で悩まず、学校や支援機関等に上手に相談してください。学校も支援機関と連携し、これからもみなさんを応援していきます。卒業しても、いろいろな行事に元気な笑顔を見せに来てください。これからの新たな旅立ちに乾杯！

『主な進路先』

《一般企業》

- ・株式会社J.M
- ・ヒラキ佐敷駅前店
- ・ロッキー芦北店
- ・トライアル新八代駅前店
- ・芦北町任用職員（予定）
- ・《就労継続支援A型事業所》
- ・一般社団法人 虹 水俣営業所
- ・ワーキングオフィスきらり八代
- ・《就労継続支援B型事業所》
- ・社会福祉法人さかえの杜

ほつとはうす

- ・NPO法人ばらん家

《障がい者支援施設 等》

- ・レストケア出水在宅医療センター
- ・くまもと芦北療育医療センター

(中村)



緊急時や災害時等に活用する一斉メール配信システム『あしえん安全メール』の運用にあたり、下記の2社からの協賛をいただいています。

- ゆめタウン八代 様
- 熊本日日新聞社 湯前販売センター 様

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》

TEL 0966-82-4627
FAX 0966-82-4606
MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp

今年度も1年間、ありがとうございました。
来年度もよろしくお願ひします。

地域支援便り

子どもたちはこの一年、たくさんストレスを経験してきました。今も、何だか分からない不安を抱えているかもしれせん。

言い訳をしたり、気持ちの奥底に押し込めたり、攻撃をしたり、赤ちゃん返りをしたり、ゲーム等に逃げたりと、いろいろな方法で自分を守ろうとしたと思います。

子どもの言動が、大人にとって困ったものであると、大人は否定的な言葉でかわかってしまうものです。まずは、大人がリラックス。心を落ち着けて。そして、子どもの話を聞いてみませんか。でも、どうやったらいいのかわからないという時は、声を出して相談してください。その言葉は、きっと支えてくれる人につながっていくと思います。

(深浦)

